

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	KID ACADEMY+垂水北校		
○保護者評価実施期間	R6年10月1日		～ R6年10月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	35	(回答者数) 29
○従業者評価実施期間	R6年11月 1日		～ R6年11月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	R6年12月2日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	満足度の項目では子どもは安心して通所しており、通所を楽しみにしている。事業所の支援に満足している。という点では、ほぼ全員が満足しておられる。当事業所では子どもが楽しく通所する、楽しく療育カリキュラムを受けるということを大切にしています。	それぞれの子どもにあった、最適な療育カリキュラムを行っています。なかでも楽しく取り組めることをとて大切にしています。子どもの発達段階だけでなく、その日のコンディションや気持ちを大切に、KID ACADEMYが楽しみ！今日も行きたい！と言ってもらえる療育を目指しています。	職員間での支援者間で毎日話し合い行って、子どもの療育支援にあたっています。よりよい療育に改善できるよう支援や業務改善の話し合いをより充実させて職員全員の目的意識を高め、サービスの質の向上をめざします。
2	脳科学に基づいたカリキュラム行うことを特徴としています。よりそれぞれの子どもたちの発達段階や課題、得意や苦手をとらえて、子どもたちの発達支援を行うことで子どもの可能性を引き出しています。	脳科学に基づくカリキュラム研修に職員全員におこなっています。また自己研鑽の社外研修への参加や資格取得など推奨しています。よりよい療育を目指しています。	より専門的な知識をもって、子どもたちの療育を行います。より充分で専門的職員の配置をおこない他にはない充実した療育を行います。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者会など利用者同士の交流の場が提供されていないこと。	保護者会の開催は難しいと考え、保護者会の開催は計画していなかった。開校当初は、保護者のニーズも把握できなかった。	保護者会を計画し開催できたらと考えます。
2	通常の療育カリキュラム以外のイベントなどを行っていない。	毎日通常療育を行っており、イベントを開催する日程が無かった。体験会や新規利用者の通所などが頻繁にあり、職員の人員的余裕がなかった。	3月に年長児を対象に事業所内で卒所式を行う予定です。日曜日も開校していますが、空き時間を作り開催できればと計画しています。

3	事業所の活動スペースが狭く、体を大きく使った活動に十分なスペースが無い。	事業所のスペースは拡張できませんが、脳科学に基づいたカリキュラムを個別療育や集団療育で行えるだけのスペースを工夫し、同スペースで行っています。利用者が満員であることも要因です。小さなお子さまはできるだけ午前中、大きなお子さまは午後といった工夫をします。	利用者の人数も現在満員であり今後姉妹校を開校し満員の状況を改善できたらと計画しています。姉妹校は療育スペースが十分にある事業所にしようと計画しています。
---	--------------------------------------	--	--